特別活動×探究×授業＝？を考える

酒井　淳平（立命館宇治中学校・高等学校）
長谷川　弘和（宮城県利府高等学校）

このあとの流れ

整理・分析

- 講演の学び、気づき、感想をまとめる
- 特別活動と総探について（レクチャー）
- 自分の役割を決める
- 自分がやりたいことを考える

↓

まとめ・表現

- グループで意見共有
- 個人で今日の学びなどまとめる
- 感想や取り組むことをペアでスピーチ

↓

新たな課題設定へ

お互いの自己紹介

酒井淳平（さかいじゅんぺい）

立命館宇治中学校・高等学校
Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School

- 数学科
- 高2学年主任、研究主任
- 総合的な探究の時間のカリキュラム開発に挑戦中
- 『キャリアガイダンス』2014年5月号・2016年10月号に登場しました！
- 趣味はドライブ、ラーメン屋・温泉めぐりなど

長谷川弘和（はせがわひろかず）

宮城県利府高等学校
Miyagi Prefecture Rifu High School

- 英語科
- 進路指導部長
- 総合的な探究の時間と特別活動
  ➜資質能力の見直しに挑戦中
- 『キャリアガイダンス』2019年7月号にひっそり登場してました！
- 座右の銘は
  NO RUN NO RAMEN

２人で一緒に取り組んだ仕事

文部科学省・長田先生統括のもと、
　齋藤先生（沖縄）、
　牧野先生（岡山）、
　守田先生（兵庫）
と一緒に頑張りました！

でも、、、

見たことありますか？

厳しい現実（？）も
学びました（笑）

整理・分析（１）

・講演の学び、感想、気づきを書いてください。

・書いたことを同じ机の人と共有してください。

特別活動の理解！

特別活動　～みなさんの学校の実態はどうですか？～

目標

・集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせる
・集団活動に自主的実践的に取り組み、課題を解決

要点

① 2つの活動＋α：ホームルーム活動、生徒会活動＋学校行事
（ホームルーム活動では合意形成と意思決定が大切）

② 3つの視点：人間関係形成、社会参画、自己実現

③ キャリア教育の中核

補足

・社会参画、自己実現はかつては特活のみで扱う。今は総合でも。
人間関係形成は特活のみ。
・かつては「中学に準じるもの」として扱われてきた（～S50）。
・S50～小学校は学級会活動、中学校は生徒指導、高校は進路を重視した。

教育活動として

年間35時間のホームルーム活動
特別活動は狙いを持った教育活動である

「ホームルーム活動が都合のよい時間になっていないか？」
「行事の下請けになっていないか？」
「生徒主導という名の･･･たこパー？」
「クラス裁量という担任にとっては、何をしたらよいか
分からない時間になっていないか？」

特別活動の問題提起②

トレーニングの場

「決められない」「話合いが深まらない」「問いが作れない」
「課題意識をもてない」「意見に理由がない」・・・etc.

↓

特別活動は格好の決定の場のはず
決める場面は無数にあるはず！

ただし、「決める」ことが目標ではなく、
決定までのプロセス、振り返りが大切

資質・能力の見直し

・資質能力の具体化
→知識・技能：「～が身についている
（～について理解している）」
思考力・判断力・表現力：「～できる（～している）」
学びに向かう力・人間性：「～しようとしている」

・資質能力ベースでの各行事の見直し
→新たな価値が発見できる（かも）

資質・能力の見直し

Re9est（利府高校で身につけてほしい9つの力）の設定
※利府のRe+9つの力＋最上級est

・育成したい生徒像の具体化
・授業、各行事などでのつけさせたい力を教員間で共有
・振り返りに活用→ポートフォリオの蓄積
→自己PRなどの自分自身の理由づけにも

総合的な探究の時間の理解！

総合的な探究の時間

～やらされていませんか？～

目標

①探究の見方・考え方を働かせ、教科横断的学習
②自己のあり方生き方を考えながら課題発見・解決

要点

①教科科目等横断的なカリキュラムマネジメントの軸

②総探では自己のあり方生き方と一体的で不可分な課題発見・解決

補足

・総合は小学校から始まった。
・文科省としては教科横断的な部分を意識している。
・総合的な学習の時間では、課題解決→自己の生き方・あり方。
　総合的な探究になり、自己のあり方生き方から課題設定も求められる。

言葉の整理！

総合的な探究の時間 と 特別活動

総探と特別活動の深い関係？

「自己の生き方・あり方と一体的で不可分な課題発見と解決」

⇒これは本来のキャリア教育では？総合を支えるのがキャリア教育では？

「課題発見と解決」

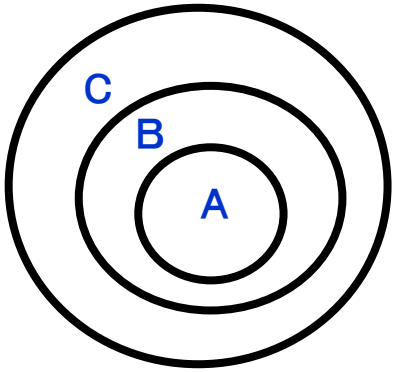
⇒これは特活でも重要（合意形成や意思決定は課題発見と解決そのもの）

おそらく数学的に考えるとこういうことでは？

＊学校には各教科の授業がある。･･･集合A

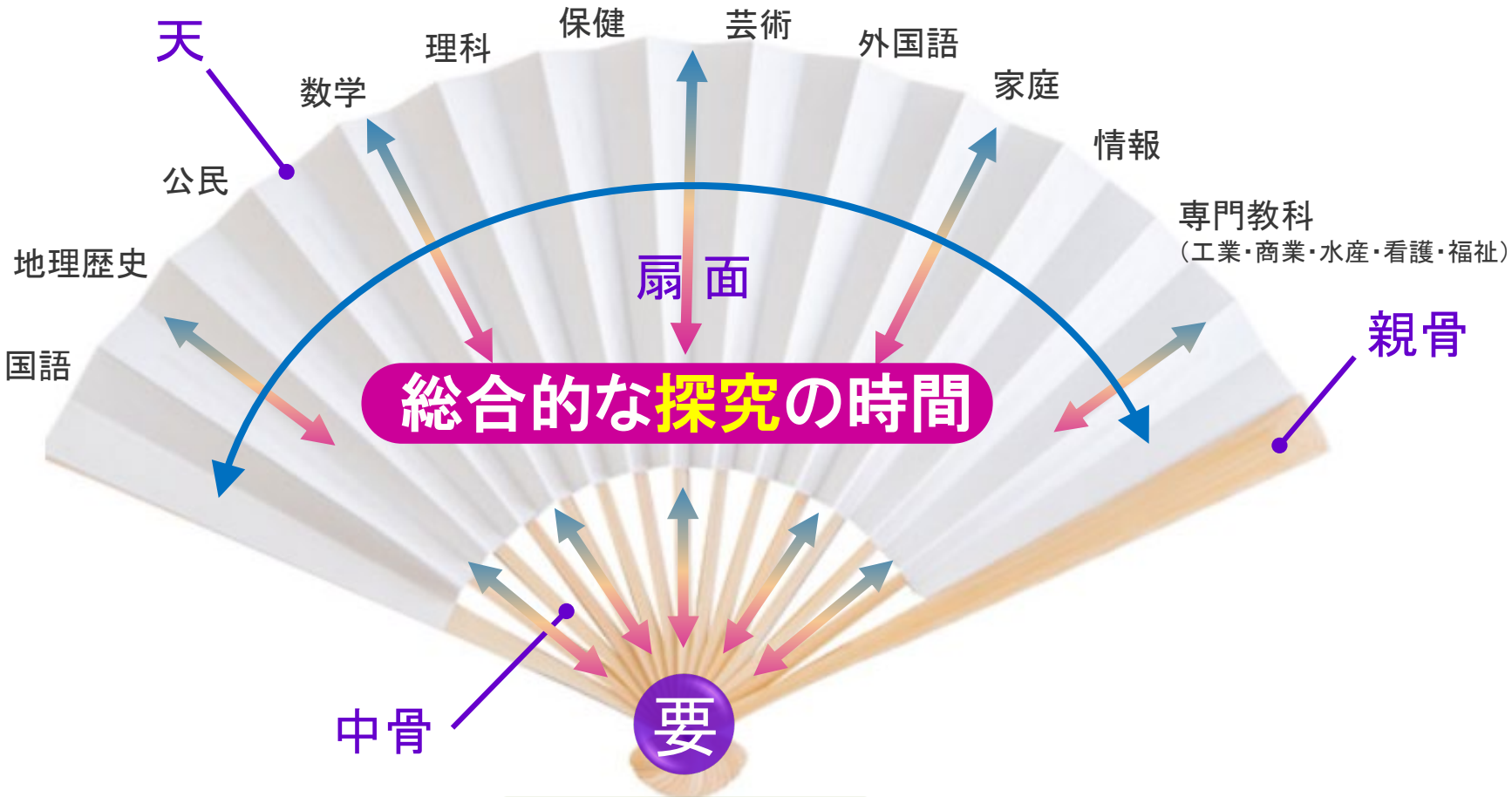
＊総探は教科科目等横断的なカリマネの軸。･･･集合B

＊総探を含み支えるキャリア教育。･･･集合C



教 科 学 習

① 教科横断的な取り組み・連携



特 別 活 動

わかりやすく図にするとこんな感じ？ （山下さん作）

「探究」と「進路」をつなぐ取り組み

立命館宇治中学校・高等学校
Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School

◆ コア探究 ⇔ 進路学習（LHR）の連動を意識

・進路学習は、主にLHR（ロングホームルーム）の時間を活用。
・2つの取り組みを連動させて取り組む。

進路（LHR） 年間計画表(抜粋)

月	
4	クラス役員決め、体育祭エントリー、校外学習に向けて
5	体育祭ふりかえり、生徒総会
6	文化祭議論、キャリア教育部企画
7	文化祭議論・準備
9	文化祭準備・ふりかえり
10	進路サポート、選択科目ガイダンス
11	生徒会選挙、研修旅行へ向けて
12	進路サポート、授業＋R（キャリア教育）
3学期	学年行事に向けて、口頭試問の取り組みなど進路サポート

総合と特活で行事をつなぐ

学問と探究をつなぐ

口頭試問で探究課題と進路を語る

コア探究（総合的な探究の時間）年間計画表

月	
4	探究3－1　京都北部魅力化
5	探究3－1　京都北部魅力化
6	探究3－2　宇治市魅力化
7	探究3－2　宇治市魅力化
9	探究3－2　宇治市魅力化
10	探究4　研究課題、マイプロジェクトの設定
11	探究4　テーマ設定
12	探究4　テーマ設定
3学期	探究4　テーマ設定

総合と特活で取り組みをつなぐ

立命館宇治中学校・高等学校
Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School

～地域課題発見型PBL～

前提　高２コア探究（総探）のテーマ＝課題設定力

→ アイデア：校外学習（特別活動）を地域課題発見型に変更！

高２コア探究・前半期のカリキュラム策定

HOP
- 事前学習（宇治・北部）
- 校外学習(新企画！)

STEP
- 北部魅力化の提案
（グループで取り組む）

JUMP
- 宇治市魅力化の提案
（グループで取り組む）

＜2種類の事前学習＞

①地域や地域課題について、フィールドワークの方法

→ 総合

②（4月なので）グループやクラスの人間関係作り

→ HR

整理・分析（２）

自分の役割を決める

＜5つの役割とできること＞

１、管理職

２、学年主任、分掌主任

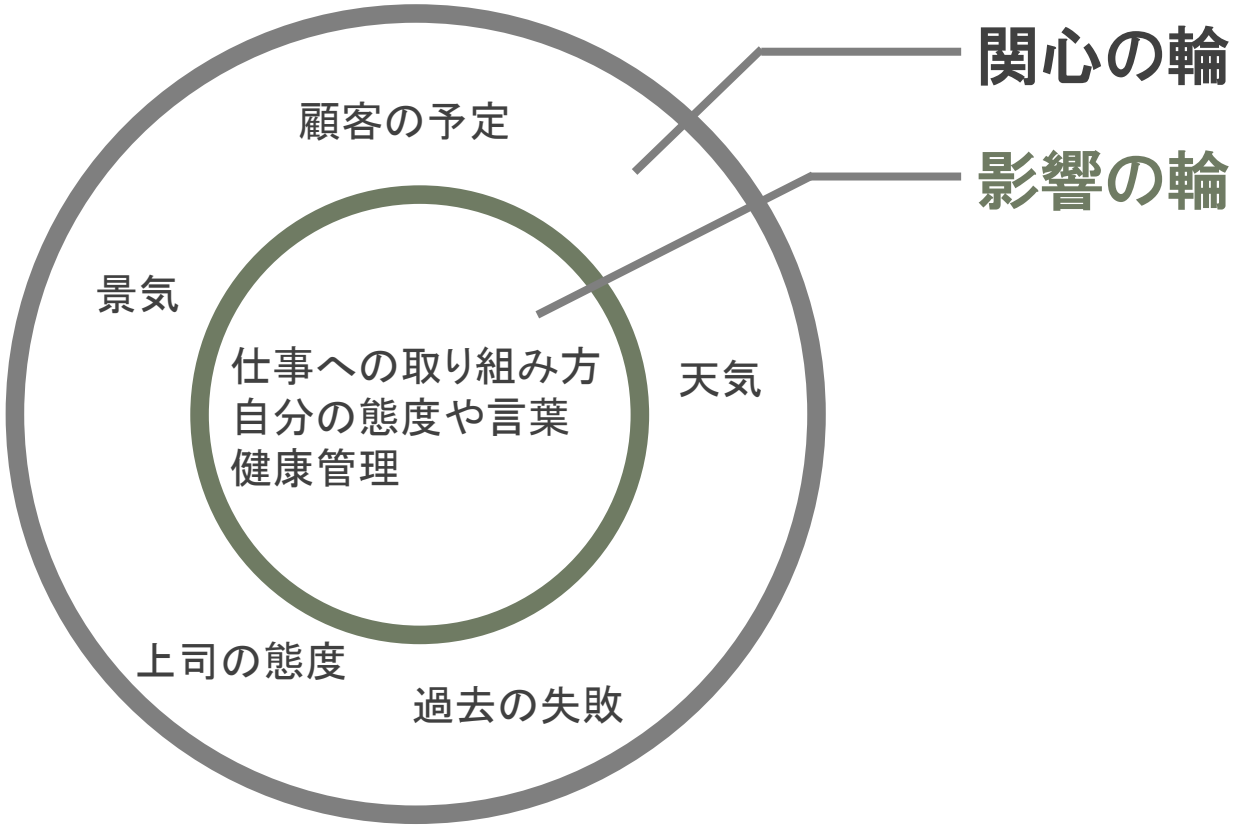
３、担任または分掌の教員

４、行政（教育委員会など）

５、教育関連業者など学校外の人

自分の役割を一つ決めてください

影響の輪について（自分ができることに注目）



＜5つの役割＞

1、管理職
2、学年主任、
　分掌主任
3、担任または分掌
4、行政
5、教育関連業者、
　保護者など
　学校外の人

Franklin Planner Japan Co.,Ltdのページより

役割の観点で今日の実践発表をふりかえる

1、黒井先生（札幌開成）＝探究・分掌部長
2、小島先生（宿毛）　　＝特活・分掌部長
3、佐野先生（都立国際）＝教科の授業・担任
4、日野田先生（武蔵野）＝学校改革・管理職

整理・分析（３）

自分が取り組みたいことを考える

自分の役割＝（　　）

自分が取り組みたいことを、影響の輪も意識しながら、

以下のそれぞれについて考えてください。

＊教科の授業

＊特別活動

＊総合的な探究の時間

まとめ・表現（１）

書いたことの共有

同じテーブルの人と書いたことを共有してください。

まとめ・表現（2）

個人で今日の学びなどまとめる

共有した意見も参考に、

1分間スピーチの内容を考える。

（今日の感想や次のアクション）

まとめ・表現（３）

１分間スピーチ

２人一組で1分間

（今日の感想や次のアクション）